

小学校5・6年生～

2022年6月 no.82

2022

よんでネット* 夏号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会

「月白青船山」

朽木 祥



岩波書店〔9137〕

矢吾と主税の兄弟は、夏休みを鎌倉で過ごすことに。2人は、地元の少女 静音とともに遊ぶうち、枝垂れ桜の木がある不思議な谷に迷いこんだ。そこは、鎌倉時代の「星月谷」。井戸の底にあった瑠璃が行方知れずになつてから、ここでは時間が止まっていた。3人は、失われた瑠璃を取り戻すために…。鎌倉の歴史と伝説が彩るファンタジー。

リンドグレン・コレクション

名探偵カッレ

アストリッド・リンドグレン 作 菱木晃子 訳 平澤朋子 絵
「城跡の謎」 「地主館の罠」 「危険な夏の島」



岩波書店〔949リ〕
※三冊とも

カッレは、スウェーデンに住む13歳の男の子。将来の夢はシャーロック・ホームズのような名探偵になること。仲良しのアンディッシュ、エヴァロットと一緒に、事件はないかと、いつも町の見回りをしていた。夏休み、3人の前にあやれげな男があらわれた。カッレたちは、城跡の鍵を持つ謎の男の尾行をするうちに…。夏休みの冒険三部作。

「トンネルの森 1945」 角野栄子

太平洋戦争のさなか、東京に住む9歳のイコは、父が再婚した光子さんと弟と3人で、千葉に疎開した。家のそばにある暗くて大きな森では、脱走した兵隊さんが自殺したと噂が...

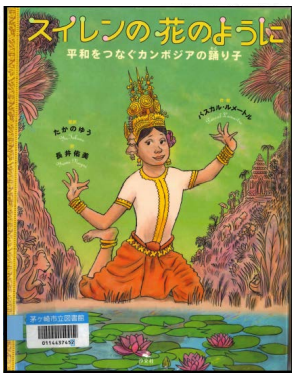
そして、東京ははげしい空襲で、何もかも燃え尽きてしまったという。様子を見てきた光子さんは、泣くばかり。東京に残ったお父さんは...



角川書店「916カ」

「スイレノの花のように 平和をつなぐカンボジアの踊り子」

汐文社「E.絵本のコーナー」



作・絵 パスカール・ルメートル 監修 たかのゆう 訳 長井佑美

戦いのつづくカンボジアで、つらい体験をけた12歳のソピリンは、才能を見いだされ、古典舞踊の踊り子に。古典舞踊は、神話や民話をもとにしたものが多く、ポーズや指の動きひとつひとつに意味がある。ソピリンは、毎日毎日練習した。そして、ソピリンの踊りは、銃を持った兵士の心を動かして...

「さかな博士のレアうま魚図鑑」

伊藤柚貴

水族館で泳いでいる魚を見て、「食べられるのかな？」と思ったことありませんか？この魚図鑑は、色とりどりの魚の絵にうれしい説明がもえられています。お店では見たことがない魚ばかりですが、ぜんぶおいしいお魚です。この本の絵やことばを書いたのは、なんと小学生！さかな博士の伊藤柚貴くんです。



日東書院「66イ」

「カワセミ 青い鳥みつけた」 嶋田 忠 文・写真

新日本出版社「48シ」



なんてきれいな鳥なんだろう。子どものころから、コバルトブルーの宝石のようなカワセミにあこがれていた。もっと知りたいと写真を撮り続けているうちに、ぼくは写真家になっていた。工夫しながら撮った写真には、水中で魚をとる一瞬がとらえられている。